

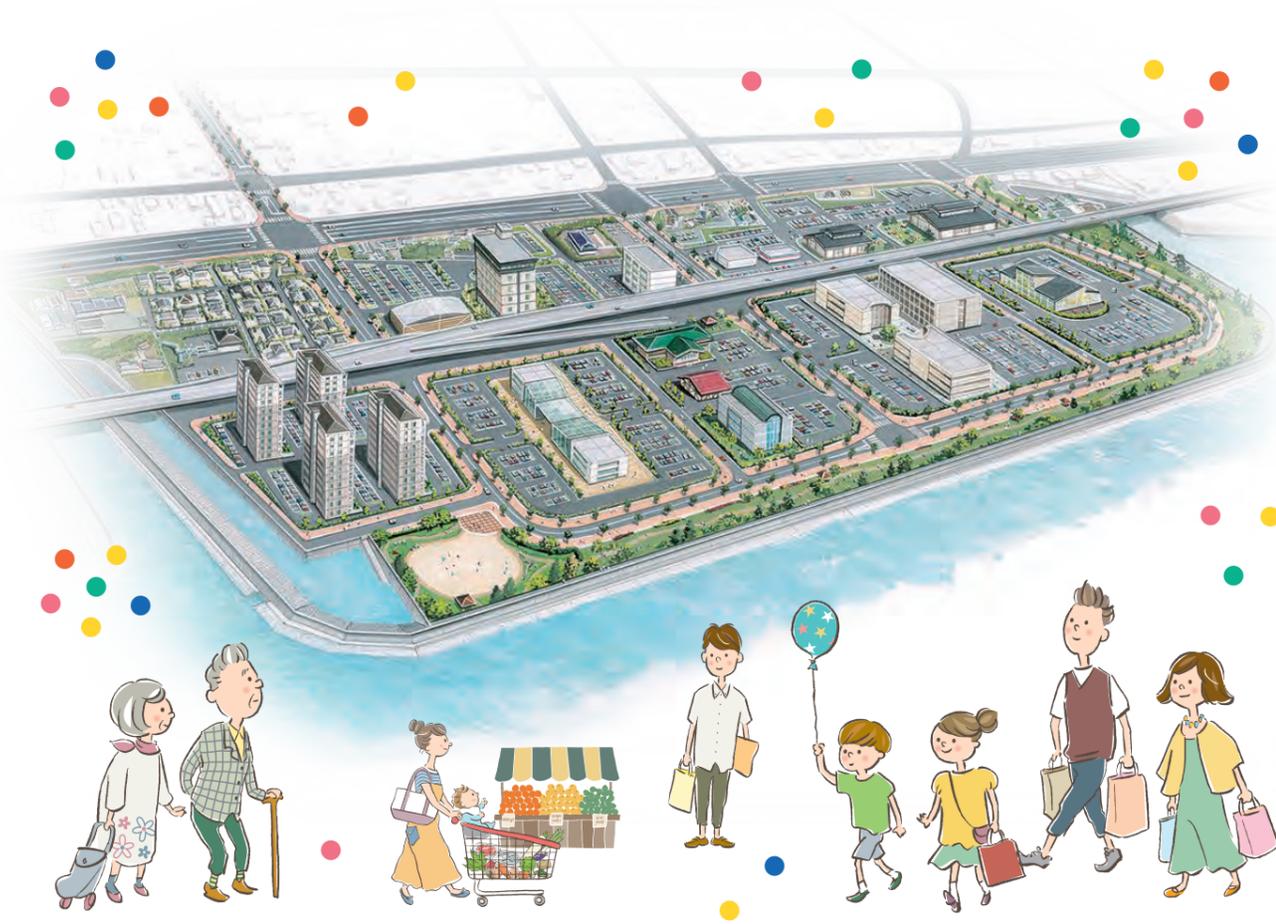
あなたと荒尾をつなぐ情報誌

荒尾  
ふるさと  
情報誌

## シロチドリ

市の鳥・シロチドリは渡り鳥です。シベリアから日本を訪れ、翼を休めます。  
そんな渡り鳥の飛来地・荒尾干潟は渡り鳥のオアシスです。

Vol.9



## 特集 荒尾の明るい未来

これから荒尾が **どんどん** 変化していく

Topics

のりまつ せいや  
乗松 聖矢さん  
銅メダル獲得!  
市民栄誉賞を贈呈荒尾旅行を  
バーチャル体験!  
#荒尾ジェニックARA0  
HOME TOWN  
今年3年  
PickUp ニュース!  
ピックアップ

荒尾ふるさと情報誌

シロチドリ

SHIROCHIDORI 2021  
令和3年12月発行

Vol.9

【発行】荒尾市役所 総合政策課 広報広聴係  
〒864-8686 熊本県荒尾市宮内出目390  
☎0968-63-1157 FAX 0968-64-0940 ✉kouhou@city.arao.lg.jp  
(編集・制作 株式会社有明ねっこ・株式会社NOTE)UD  
FONT  
BY MORISAWA

市長室からこんにちは!

荒尾市長から  
ごあいさつ

皆さんこんにちは。市長の浅田 敏彦です。

私も今年2月から2期目の任期がスタートし、気持ちも新たに元気いっぱい頑張っています。

今回発刊しました「シロチドリVol.9」では、市長に就任以来、荒尾の「明るい未来」を築くために取り組んできた「あらお未来プロジェクト」が、ようやく目に見える形となって動き出している様子を、ふるさと会員の皆さんにも感じていただきたいと思い、ご紹介させていただきました。

これからも、先人たちが築いてきた荒尾の歴史や地域資源に更なる磨きをかけていくとともに、スマートシティの推進やデジタル技術の活用な

ど、新時代を見据えた施策にも積極的にチャレンジし、「暮らしたいまち 日本一」を目指して取り組んでまいります。

また、荒尾市は令和4年4月、市制施行80周年を迎えます。皆さんと一緒に祝うことができるよう、様々なイベントを企画してまいりますので、ぜひ荒尾へお越しいただき、実際に変化しつつある荒尾のまちなども感じていただければ幸いです。



あらおのイモノ届いちゃう♪

ふるさと納税

荒尾市 ふるさと応援寄附金

荒尾市への応援をよろしくお願いします!

お礼品の一例

寄附の申し込み方法

寄附金申込書のほか、市ホームページ、ふるさと納税ポータルサイト(ふるさとチョイス・楽天ふるさと納税・さとふる)からお申し込みください。

申し込みはこちら→

右記サイトでお礼品がご覧いただけます

ふるさとチョイス 楽天ふるさと納税 さとふる

1 寄附金控除が受けられる!  
寄附した額のうち、2千円を超える分は所得税や住民税から控除されます。

2 お礼品は100品目以上!  
市外の人からの一定額以上の寄附には、その額に応じたお礼品をお贈りしています。

くらしいきき課 ふるさと創生係  
☎0968-57-7059 ✉kurashi@city.arao.lg.jp

荒尾の「いま」をSNSで発信中!

地域おこし協力隊  
日々の活動内容や荒尾での生活の中で発見した「よかとこ」を発信しています。荒尾干潟水鳥・湿地センター  
荒尾干潟の旬な話題や生きものなどの情報を発信しています。広報アプリ「マチイロ」  
読者登録で毎月最新の「広報あらお」をスマホから簡単に見ることができます。

令和5年10月

## 新・市民病院開院

これまで以上に地域の皆さんの安心な暮らしを支えていきます!

地域医療の中核を担う市民病院が新しくなります!

昭和16年の創立以来、荒尾市民はもちろん、周辺地域の皆さんに医療の安心と安全、健康の維持・増進を図るため、質の高い医療の提供に努めてきました。24時間体制で救急医療にも対応し、地域住民が安心して暮らすことができます。新病院では、ヘリポートと救急外来・手術室などを直結させ、急性期病院として、診療の効率性を向上させます。これからも将来にわたり地域住民の命と暮らしを守り続けることができるよう、現在新病院の整備を進めています。



令和3年7月

## マガキ養殖所の設置

荒尾干潟でマガキ養殖試験が始まる新たな市の特産品へ

有明海特有の高低差のある潮の満ち引きを利用して、九州でも取組事例が少ないバスケットカゴを活用したマガキの養殖試験を開始しました。干潟に設置したバスケットカゴが潮の満ち引きで海水に入ったり日光にあたりたりを繰り返すことで身の詰まった高品質なカキが育つといわれています。今後は新たな市の特産品となることを目指し、一般販売に向けて取り組みを進めます。この漁法が確立すると、漁業者の新たな収入源の確保や漁家経営の安定、将来の担い手の確保にもつながります。



これからどんどん成長して大きくなります!



# これから荒尾が **どんどん** 明るい未来へ変化していきます!

令和4年9月

## 新たな給食センター整備

食物アレルギーにも対応し子どもたちが安心して食べられる給食を提供

荒尾市と長洲町は共同で老朽化する給食センターの施設整備を図り、子どもたちに安心・安全でおいしい学校給食を提供するため、令和4年度を目標に新たな給食センターを整備します。食物アレルギー対応調理室を整備し、供用開始当初は卵、乳の対応から始め、将来的に対応品目を拡大していく予定です。大規模災害時には、荒尾市・長洲町の被災地域への炊き出し機能を有した施設となります。

大規模災害時は炊き出しの対応ができる施設になります!



令和4年4月

## 市立図書館リニューアル

書店やカフェを併設しだれもが気軽に利用できる図書館へ

市内最大の商業施設あらおシティモールの2階に移転リニューアルします。新しい図書館では、「干潟の図書館」をデザインコンセプトに、「学びをつたえる」、「交流活動とつながる」、「未来につづく」を掲げ、大人も子どもも楽しめる新たな拠点を目指します。

あらおシティモールに移転します!



画像はイメージです



親子・児童ゾーン



東京パラリンピック 車いすラグビーで2大会連続の銅メダル獲得!

祝  
銅メダル  
荒尾市出身の乗松 聖矢選手に  
市民栄誉賞を贈呈しました

メダル獲得  
おめでとう  
ございます!

10月27日、東京パラリンピックの車いすラグビーで、銅メダルを獲得した乗松 聖矢選手へ市民栄誉賞が贈られました。市長は「チームのピンチを救おうとする強い意志を持った姿は、コロナ禍の中、荒尾市のみならず全国に勇気と感動を与えてくれました」と述べ、表彰状と記念品を贈りました。乗松選手は「家族や友人、競技生活を支えてくれたすべての人のおかげです。今回準決勝で負けた悔しさをバネに、次のパリ大会では若手とベテランの橋渡し役となって金メダルを獲得し、応援してくれる皆さんの期待に応えたい」と強い想いを語ってくれました。



3位決定戦の様子のオーストラリア選手

Profile

のりまつ せいや  
乗松 聖矢さん 1990年生まれ(31歳) 荒尾市出身・熊本市在住 SMBC日興証券所属。16歳から車いすバスケットボールを始め、23歳で車いすラグビーに転向。2016年のパラリンピック リオデジャネイロ大会で銅メダルを獲得。今年の東京大会でも銅メダルを獲得し活躍。



荒尾旅行をバーチャル体験!

コロナ禍で自由な旅行が制限される中、荒尾市への旅行をバーチャルで体験していただき、収束後の来訪のきっかけになるよう、プロモーション動画を制作しました。市内の写真映えるスポットを「#荒尾ジェニック」として紹介しています。観光地やご当地グルメも紹介していますので、「おうち時間」にぜひご覧ください。



動画の視聴はこちらから!



撮影テクニックも紹介しています!

#荒尾ジェニック

以下の3つのほか、新しい動画も続々追加予定!



～友達と2人で行こう! 女子旅編～



～子どもといっしょ旅編～



～動画テクニック教えます～

人がつながり 幸せをつくる 快適未来都市

荒尾ウェルビーイング  
スマートシティ実行計画進行中!

あらお海陽スマートタウン  
(競馬場跡地)イメージ



荒尾市は  
スマートシティの  
実現に向け、取り  
組んでいます!

暮らしを便利に快適にするスマートシティの実現へ

国土交通省「先行モデルプロジェクト」に選定!

鏡の前に立つだけで健康状態が分かり、その状態に合ったおすすめの食事や運動メニューなどを教えてくれるウェルビーイングミラーなどを活用した「日常人間ドック」の実証実験を開始し、数年後の実装を目指します。エネルギー分野でも再生可能エネルギーを活用した停電しないまちづくりや、公共施設が排出する二酸化炭素を実質ゼロとする「自治体版RE100」の実現に取り組んでいます。全国を牽引する先導的な取り組みが評価され、国土交通省スマートシティプロジェクト「先行モデルプロジェクト」に九州で唯一選ばれました。



ウェルビーイングミラー実証実験  
(浅田市長の体験)

令和7年度末

道の駅、保健・福祉・子育て支援施設などを  
集めた複合施設がオープン予定!

「道の駅あらお」(仮)

人々が集い、地域を元気にする拠点

「しあわせと元気の創造ステーション」をコンセプトに、道の駅あらお(仮称)の整備を推進しています。整備予定地である、あらお海陽スマートタウン(競馬場跡地)には、道の駅のほか芝生広場や公園、民間の宿泊施設や温浴施設、アウトドア施設の誘致も見込んでいます。これらの多様な施設が連携し、人々の交流と賑わいを生み、地域を元気にする拠点を目指します。

保健・福祉・子育て支援施設

安心できる暮らしやすいまちへ

市や社会福祉協議会などの保健・福祉・子育てに関する機能を移転し、集約することで、健康づくりや福祉・子育て支援の充実にかかる事業に総合的に取り組み、市民がワンストップで相談や支援・行政サービスを受けることができます。全世代の健康づくりに取り組み、子育て支援機能を充実させ、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行います。

NEWS  
04あらお海陽スマートタウン  
(競馬場跡地)の整備が進む

住宅地分譲を実施し、今後は有明海沿岸道路の工事も始まります。競馬場跡地の新町名候補は、全国439件の応募の中から「海陽町」に決定しました。

NEWS  
03

## 新たな施設の工事が始まる



4月には市民病院、7月には給食センターの建て替え工事が始まりました。市民の皆さんの安心・安全な暮らしのための施設整備が進んでいます。

NEWS  
06YouTubeで市内19企業の  
PR動画を公開

コロナ禍に負けず、地元雇用を促進するため、採用予定のある企業の魅力や福利厚生を動画で紹介。

NEWS  
05令和2年7月豪雨で被害を受けた  
関川の復旧工事が始まる

令和5年度に工事完了予定。多発する豪雨災害に備えて、4月からは防災情報伝達システムの運用が開始され、今年8月の大雨時にも稼働しました。

NEWS  
08

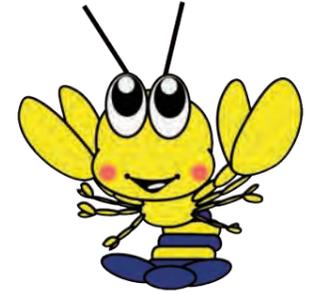
## 浅田市政2期目スタート



2月から2期目の市政運営を担うこととなりました。直面する課題を市民と協働で解決し、「暮らしたいまち日本一」を目指します。

NEWS  
07税金や料金のコンビニ・スマホ  
収納開始

全国どこからでも、24時間いつでもコンビニやスマートフォンから納付ができるようになりました。スマートフォンでの納付は県内で5例目。

HOME TOWN  
ARAHO今年も  
いろんなことが  
ありました!荒尾市マスコット  
キャラクター  
「マジャッキー」令和3年  
Pick Up ニュース!  
ピックアップ

今年はこちらのことがありました! 令和3年の荒尾市での出来事をご紹介します!

NEWS  
01新型コロナワクチン接種と  
日常生活へのコロナ対策

市内12歳以上の人の8割以上へのワクチン接種が完了し、12月からは追加接種が始まります。日常生活へのコロナ対策として、熊本県内初となる電子商品券の発行(40%のプレミアム率)や、休校時のオンライン授業も行われました。

Arao PAYを使ってお得に荒尾を楽しもう!

電子商品券の他、今後もお得な事業を実施予定。市外の方もご利用いただけます。

NEWS  
02野原八幡宮風流  
国重要無形民俗文化財指定

3月11日に国の指定を受け、ユネスコ無形文化遺産の候補「風流踊」の1つとしても選定されています。野原八幡宮風流は菰屋・野原・川登の3地区に口伝で受け継がれてきた民俗芸能で、笠を付けた2人の稚児(各地区の子どもたち)が歌や笛に合わせて太鼓を打ちつつ踊ります。毎年10月15日に行われる野原八幡宮の祭礼「のぼらさん」で節頭行事と併せて奉納されています。

(写真:野原地区)